



議会だより

元・とろろおぼろ
土庄町

とのしよ

No.37

contents

- 議会の新体制スタート! …… 2・3P
- 町議会の動き …… 4・5P
- 常任委員会の活動 …… 6~9P
- 一般質問 …… 10~12P
- 編集後記 …… 12P



平成21年
8月5日発行 / 第37号



議会の新体制スタート!!

土庄町議会議長 太田 和 博



この度、議員各位のご推挙により、議会議長という大役を務めさせていただくことになり責任の重さを痛感しております。微力ではございますが、議会が円滑・円満に運営されますよう誠心誠意努力してまいる所存であります。

わが町は構造改革や地方分権が進む中、極めて厳しい財政状況であり、財源確保、少子高齢化への対応、産業振興による地元雇用の確保、福祉の向上など、重要な課題が山積しています。創意と工夫で、柔軟かつ的確に対応していかねばなりません。

議員一人ひとりが住民の代弁者として、その期待に応えるためにも、土庄町の将来像を住民と共に考え「この町に住んでよかった」と思えるような町づくりを取組んでいきたいと考えています。

町民の皆さまには、今後とも町議会に対しましてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。議長就任のご挨拶といたします。

議長に
副議長に

太田和博氏
三枝邦彦氏

就任

土庄町議会副議長 三 枝 邦 彦



この度、6月議会において議員皆さまのご推挙により、副議長の要職に就任させていただきましたことになりました。大変名譽なことであり感激いたしているところでです。同時に責任の重さを痛感し、議長の足手まといにならないのか、心配しているところでもあります。新体制のもと、土庄町の発展のために、誠心誠意努力してまいりたいと意を新たにしている処でございます。

少子高齢化対策や観光産業を中心とした産業振興策に全力で取り組み、地元若者たちが故郷で働けるような活気のある「元気あふれる土庄町」を目指す所存でございます。

議会としては、住民皆様の声に耳を傾けながら、町当局と議会が一体となり改革に取り組んでいかなければなりません。町の発展のために太田議長のご指導とご助言をいただきながら、その職責を全うするよう最大の努力をいたしたいと念願している次第でございます。

もとより浅学非才な私ですが、住民の皆さまの温かいご理解とご指導、ご支援を心からお願ひ申し上げます。就任のご挨拶といたします。

委員会構成



教育民生常任委員会



総務建設常任委員会

- 教育民生常任委員会**
- 〈委員長〉 丹生 則幸
 - 〈副委員長〉 泊 満夫
 - 〈委員〉 上川 正衛
 - 〈委員〉 川口 幸路
 - 〈委員〉 柳生 好彦
 - 〈委員〉 山本 彰治
 - 〈委員〉 太田 和博

- 総務建設常任委員会**
- 〈委員長〉 井上 正清
 - 〈副委員長〉 山本 良熙
 - 〈委員〉 川本 貴也
 - 〈委員〉 藤本 誠助
 - 〈委員〉 川口 功
 - 〈委員〉 山口 保範
 - 〈委員〉 三枝 邦彦

- 議会運営委員会**
- 議会は14名の議員で構成され、しかも政策論議の機関であります。その円滑で能率的な運営を図るため、運営責任者である議長が相談できる諮問的機関が必要とされ、その役割をはたしている委員会です。
- 〈委員長〉 柳生 好彦
 - 〈副委員長〉 川本 貴也
 - 〈委員〉 井上 正清
 - 〈委員〉 丹生 則幸
 - 〈委員〉 川口 功
 - 〈委員〉 山口 保範
 - 〈委員〉 三枝 邦彦

- 議会広報特別委員会**
- 〈委員長〉 山本 良熙
 - 〈副委員長〉 川本 貴也
 - 〈委員〉 泊 満夫
 - 〈委員〉 上川 正衛
 - 〈委員〉 井上 正清
 - 〈委員〉 三枝 邦彦
 - 〈委員〉 太田 和博

- 交通問題対策特別委員会**
- 地域振興をはじめ、まちづくりの基盤となる陸上及び海上を含めた公共交通等の諸問題について調査・研究を行い、町民の利便性と安全性を図るため、本委員会を設置しています。
- 〈委員長〉 三枝 邦彦
 - 〈副委員長〉 柳生 好彦
 - 〈委員〉 川本 貴也
 - 〈委員〉 川口 幸路
 - 〈委員〉 丹生 則幸
 - 〈委員〉 藤本 誠助
 - 〈委員〉 山口 保範

特別委員会

の 動 き

6月定例会

6月定例会が6月17日から22日までの会期で開催され、次の議案が可決されました。

平成21年度一般会計補正予算

執行部から提出された予算案の中の商工観光課所管の商工費では、エンジェルロード公園に公衆トイレを整備するための経費として1,600万円を計上しているとの説明でした。議員よりエンジェルロード公園の公衆トイレについては、観光客が多く訪れる場所であり、臭気などの懸念があるので、簡易水洗方式ではなく、『合併浄化槽方式で整備すべきである。』との意見があり、商工費の補正額を3,080万円から1,000万円増額する増額修正案が提出され、可決されました。

1億563万6,000円増額に一部修正可決
一般会計予算総額 63億8,063万6,000円

【補正予算 歳出の主な内訳】

○旧大部小学校校舎解体工事	5,100万円
○土庄港環境整備事業委託料	3,800万円
○コールセンタースタッフ養成研修委託料	1,500万円



公衆トイレの設置が待たれるエンジェルロード公園

区分	議案の内容	概要説明
専決処分	土庄町税条例等の一部を改正する条例	・個人住民税における住宅ローン特別控除の創設 ・固定資産税（土地）の負担調整措置を平成23年度まで継続 ・配当・譲渡益に対する軽減税率（10%）を3年間延長
	土庄町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	・2割減額の対象となる納税義務者の要件の見直し ・介護納付金に係る課税限度額を現行9万円から10万円に引き上げ ・特別徴収の方法による徴収を行わない納税義務者の要件の見直し
条例関係	土庄町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	勤務時間の見直し
	土庄町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	平成21年6月期 期末手当0.15か月分減額
	土庄町長及び副町長の給与支給条例の一部を改正する条例	平成21年6月期 期末手当0.15か月分減額
	土庄町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	平成21年6月期 期末手当0.2か月分減額
工負の事契約締結	平成21年度土庄中学校南棟校舎解体撤去工事	【請負代金】 56,910,000円 【工事請負人】 株式会社 トミウン

5月臨時会が5月12日に開催され、次の議案が全員一致で承認・可決されました。

5月臨時会



町 議 会

◆工事請負契約の締結◆

工 事 名	唐櫃漁港地域水産物供給基盤整備事業（1工区）A防波堤建設工事
請負代金額	71,925,000円
工事請負人	株式会社 田中海事

◆平成21年度病院事業会計補正予算◆

補正額	補正後予算総額	補正内容
470万9千円	18億9,075万円	新型インフルエンザ対策として人工呼吸器、エアートント等の購入費用

◆工事請負契約の変更◆

工 事 名	平成21年度土庄中学校南棟校舎解体撤去工事
変更前契約金額	56,910,000円
変更後請負金額	61,786,200円
契約の相手方	株式会社 トミウン



土庄中学校南棟校舎解体現場

◆人事案件◆

- 土庄町副町長の選任について
千葉 三郎 氏（再任）
- 土庄町固定資産評価審査委員会の委員の選任について
堀川 弘 氏（再任）

国の大型補正により、4億1,000万円増額に可決 一般会計予算総額 67億9,063万6千円



唐櫃漁港

区分	議案の内容	概要説明
予 算	平成21年度土庄町一般会計補正予算（第2号）	唐櫃漁港地域水産物供給基盤整備事業への4億1,000万円追加 →補正後総額 67億9,063万6千円
工 契 事 約 請 の 負 変 更	唐櫃漁港地域水産物供給基盤整備事業（1工区）A防波堤建設工事	【変更前契約金額】71,925,000円 【変更後請負金額】80,850,000円 【契約の相手方】株式会社 田中海事
そ の 他	新たに生じた土地の確認について	小江字赤崎 479.56㎡
	字の区域の変更について	小江字赤崎に編入

7月臨時会が7月10日に開催され、次の議案が全員一致で承認・可決されました。

7月臨時会

常任委員会の活動

総務建設常任委員会

平成21年5月15日に、閉会中の総務建設常任委員会を開催しました。

水道課

土庄町水道ビジョンについて説明がありました。

この水道ビジョンの基となる「水道事業基本計画」は、次回の委員会にて詳しく報告します。

厚生労働省より、事業の現状と将来見通しを分析・評価した上で目指すべき将来像を描き、その実現のための方策等を示すものとして「地域水道ビジョン」の策定が求められました。

この「地域水道ビジョン」には、「事業の現状分析・評価」、「将来像の設定」、「目標の設定」、「実現方策の検討」の4項目があります。

まず、「現状の分析・評価と課題」では、人口及び給水量の実績と予測について示しており、人口については過去10年間で約2,500人減少し、平

成19年度15,676人から平成30年度12,619人になると予測しています。

収益に跳ね返る有収水量は、生活様式の向上により増加する要因はありますが、人口の減少、節水型機器の普及等により平成19年度日量5,271m³から平成30年度4,689m³になると微減傾向を予測しています。

次に、「実現方策の検討」として目標年度までに計画をしている主な事業は、肥土山浄水場更新工事、集中監視設備更新工事、石綿管更新工事、老朽管布設替工事、老朽配水施設更新工事の5事業を計画しています。

財政計画は、平成26年度から総費用が総収益を上回り健全な経営が困難となります。

そのため、現況程度の試算で推移するためには、水道料金の値上げが必要となります。

現段階での試算上の値上げは、20%以上が望ましいわけですが、利用者の負担を考えると平成23

年度に10%、平成28年度に10%の2段階の値上げを検討する必要があるとの説明でした。

委員より、**問** 水道料を値上げしていかないとやっていけないのか。

執行部より

答 現在の試算状況だと20%の値上げは必要になります。23年度から値上げをしない限り、施設等の更新事業はできにくくなり、できれば今後、特別委員会の設置を議会にお願いしなければならぬとの説明でした。

農林水産課

鳥獣害防止対策について、近年の深刻化する鳥獣被害が多発している中で、その被害の防止施策を総合的、かつ効果的に推進する目的で、今回「鳥獣害防止総合対策事業」に取り組み、効果を挙げたいと思っています。

この事業に取り組みにあたり、町、農林漁業団体、猟友会など15団体で組織した協議会を4月30

日に立ち上げました。

それは、対象鳥獣の種類はニホンジカ、サル、タヌキ、カラス、イノシシ、カワウ、それと、最近でできたヌートリアです。事業費は2百万円です。全額国費です。

被害防止対策は、ニホンジカ、カワウは、銃により捕獲、サル、タヌキ、カラスなどは、捕獲箱等での実施を考えています。

今回シカの駆除は、5月16日から60日間銃による駆除は80頭で、くくりわな等で20頭、計100頭駆除します。今後の取組方針は、毎年増加している有害鳥獣害を組織的、計画的に捕獲することにより、適正頭数での共存を図っていききたい。

また、防護柵の設置計画として、平成21・22年度で電気柵や侵入防止ネットを設置する計画です。

その他の取組みとしては、地

域懇談会や現地研修会などでの普及啓発等を実施し、地域住民主体での整備や追い払い活動等ができるよう体制を整備していきたいとの説明でした。

委員より、

問 電気柵や侵入防止ネットは、町にあるのか。

執行部より、

答 これは県の小豆農業改良普及センターの方が材料費を提供し、設置等に関しては受益者がすることになっており、2〜3名以上の団体での申請でないとは設置はできない。



▲肥土山浄水場



▲ヌートリア（頭胴長約50cm）

企画課



▲6月24日に開催された「瀬戸内国際子ども映画祭」設立準備総会の様子

世界の子ども映画祭について、瀬戸内国際映画祭が2010年、その翌年の2011年に開催を予定、開催場所は直島町・土庄町・小豆島町・高松市での予定です。それに関連して3月3日に町長、議長とともに直島町へ出向き「世界の子ども映画祭」の開催を提案したところ、「共に

やっていきましょう。」という返事をいただきました。

香川県も協力をするとのこと、さめぎ映画祭の中に「世界の子ども映画祭」をつくり、県・高松市・3町（直島・土庄・小豆島町）で実施するという大枠の方向づけができた段階とのこと。6月24日（水）に土庄町で第1回目の関係者会議を開催しました。

答 「各町に声を

関係者会議に出席した議員より、

委員より、
問 今から方向付けをしていくということか。

開催の実施時期は、瀬戸内国際芸術祭が3年毎にあるので、その合間に「世界の子ども映画祭」を開催していきたいとの説明でした。

今後は、企画課と参事を中心に素案づくりに取り掛かっていきたいという報告でした。

※「世界の子ども映画祭」は「瀬戸内国際子ども映画祭」に名称が変わりました。

かけて協力するチームをつくっているところで。岡田町長がトップに立って進めていく予定で、地域の活性化を目的とし、交流人口を増やしたい」との説明でした。

次に、小豆島バスの路線バス関連について報告がありました。

小豆島バスから、町長宛に文書が4月20日付けで提出されました。

内容は、早急に会社分割による新設会社への路線バス事業の承継についてご了解をいただきたいということ、新設会社は現会社とは資本的にも人的にも全く繋がりのない、地域住民による地域住民のための路線バス事業運営会社とするため、「島バス友の会」の会員2,200名を核に、多くの島民の方々より出資を募って設立したいとのこと。



また、香川県バス等生活交通確保対策地域協議会にも同様の文書を提出しています。

小豆島バスとしては、早く香川県バス等生活交通確保対策地域協議会を開いてもらい了承を得たということです。

そういう中で5月13日に、この協議会の事前打ち合せ会を国、県、2町と小豆島バスが集まり開催しました。その会の結論は、「新会社の姿が見えてこない。具体策が全く見えてこない。協議会の設置については今のところ無理である」との結論になり、暫く様子を見るところになりましたとの報告でした。

総務課

3点報告がありました。

1点目、高松法務局土庄出張所の統合について、見直しの要望書を4月30日付けで、小豆島町、小豆島町議会との連名で提出しました。状況は、法務局の部長などが各種団体と面談しているが、なかなか見直しは難しいのが現状と思われる。

2点目、旧東洋紡績跡地の香川県信用組合との土地交換契約について、5月8日に契約し、登記は5月12日に完了しています。まず香川県信用組

合側が建物を建設し、その後移転、旧建物を取り壊し、町への移転登記をする予定です。

3点目、定額給付金の現在の支給状況は、5月14日現在で申請済率が87.4%、振り込みは、郵貯銀行が5月28日に、その他の銀行では既に振り込んでいます。今月中に9割以上を済まし、残りの1割の方については6月から各地域を回り、その際に家庭訪問等をしたいとのことでした。

以上各課の報告・説明を受け慎重審査の結果、委員会として了承しました。

教育民生常任委員会

5月27日に、閉会中の教育民生常任委員会を開催しました。

住民環境課

小江ごみ最終処分場における今後の対策について説明がありました。

「小海浜住宅」の建築現場視察

建築状況は、3棟6戸の建物は完成しており、外構工事を残すのみになっています。6月に県住宅課の竣工検査、7月から入居予定との説明がありました。

小江のごみ最終処分場視察

平成8年に開始、平成22年度に協定期間が終了します。今回地元要望で、高さ25mの土堰堤の前に環境保全対策としてシート防水を張り埋立てし、瀬戸内砕石側は、悪水が漏れないように土堰堤を同じ高さまで嵩上げしたいとの説明でした。



▲小江ごみ最終処分場視察

まず、処分場の当初計画ないし現況について、当初計画の、埋立処分量は86,400㎡で、15年間計画となっています。ごみの分別収集等で、ごみが年々減っています。現状では、54,400㎡が埋まっており、あと32,000㎡が埋立て可能ということになっています。

次に、現状と今後の整備計画は、平成23年3月31日をもって15年の協定期間が終了しますが、協

定によって埋立て可能分まで、継続できるということになっています。そこで、地元との協議の中で、残り2年間で土堰堤を整備し、環境保全対策としてシート防水をするという形で地元との協議は整っています。

万円を見込んでいます。現在、小江地区との協

工事は、第1期工事として、高さが25mの土堰堤の整備を計画しています。事業費は、実施設計を含めて、約2,600

議内容は、地権者の方は協力していただけることですが、自治会、交渉委員会等の話し合いが残っており、町としては、15年間の契約期間を終えて、今後の新たな契約をどのようにしていくかを問われている状況との説明でした。

問 地元との話し合いは、まとまりそうなのか。

執行部

答 まだなんとも言えない状況です。

当委員会として、執行部に「大変でしょうが、頑張る対応してください」と要望しました。

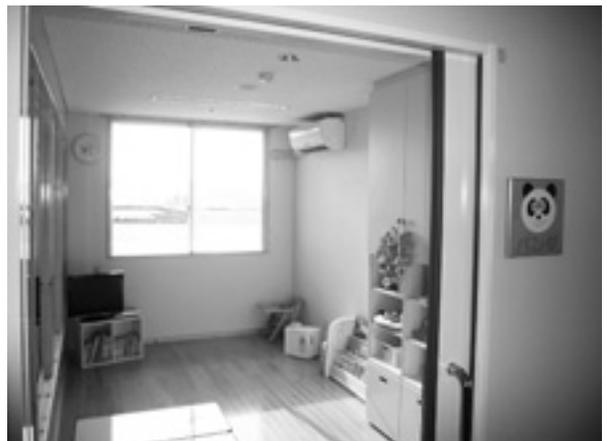


▲処分場の現在のようす

土庄中央病院

平成20年度の患者数は、入院3万8,284人、前年比4,788人の減、外来が9万3,120人、前年比7,448人の減となっています。この減については、医師不足ということ、薬の処方が長期処方になったケースなどで、減なっています。

病児保育は、21年1月に事業運営を開始し3月までの実績が、全体で89人、平均して1日当たり1.8人になっています。



▲病児・病後児保育室「げんきっこ」土庄中央病院3階(うさぎ・パンダ・かば)3部屋

勤務医師の状況ですが、常勤医師が20年度まで10名、21年度から内科医が1名増になり、4月1日から午後診療を開始しています。

問 現在の医師・看護師の体制では、診療報酬のアップが望めないのか。

答 診療報酬の入院部分の増収をしたい。18年度に診療報酬が改正され、看護基準を現在の13対1から10対1にしないと収益は上がらない。

健康増進課

「新型インフルエンザ対策」

県が示した行動計画を基に「新型インフルエンザ対策行動計画」を作成しています。内容は、未発生時期から県内の発生時等の対応計画と、町の対策本部体制や職員の動員編成等も計画されています。

これまでの経緯ですが、国内発生以降は、小豆保健所で24時間対応の発熱相談センターを開設しています。

町は、県下で発生した場合に対策本部を設置し、小豆保健所と協力しながら蔓延の防止に努めたいとの説明でした。

次に病院対応ですが、県内で発生があった場合には、感染の恐れがあるので、直接病院への診察は控え、まず発熱相談センターで相談をし、その指示により県に指定されている内海病院で、診察を受けることになっています。

また、県からは、発熱

外来の開設を準備するよう指導があるので、土庄中央病院においても駐車場にテントを張り設置したいとの説明でした。

続いて、学校関係の対応は、これまでは、県教育委員会からの指導により、各小中学校等へ、感染予防策の周知徹底と独自の対応危機管理体制の設置を指導しました。また、臨時校長会・園長会を開催し、臨時休業等の要請と報告に関する連絡体制等について協議しました。

委員より、
問 住民への周知をどのようにしているか。

執行部より、
答 基本的には、県の保健所が第1次的な相談窓口になり、多くなった場合は各町の保健師が応援に行く体制になっています。住民への周知は、防災無線の活用と、「町民の皆さんへお願い」というチラシを県が作成し、配布しているとの説明でした。

生涯学習課

「全国地芝居サミットの報告」

5月16・17日に開催されました地芝居サミットは、全国から30団体、個人で14名の参加申し込みがあり、16日は、小豆島国際ホテルにおいて、総勢357名の参加で交流会を開催しました。

翌17日は、肥土山の舞台で香川県内の4団体が上演しました。天候はいまひとつでしたが、観客は1,000人以上もあり、大変盛況で終了したとの報告でした。



▲5月16日に行われた交流会



▲5月17日、「肥土山の舞台」での様子▲



教育総務課

「土庄中学校校舎解体撤去工事」

校舎内に残った備品類の処分料が追加で必要になり、金額は約460万円、また、樹木の移植の提案があり、桜の木を2本、プラタナスの木1本を移植することとしました。その移植費用が、約20万円で、合計約480万円追加となります。予算的には当初予算でいけますが、6月議会に工事請負の変更契約を提案させていただきたいとの説明でした。

以上各担当課より報告・説明を受け審査した結果、委員会として了承しました。



▲移植したプラタナスの木

一般質問



川本貴也 議員

コールセンターの進捗状況を問う、人材の確保はできるのか

Q 先の総務建設常任委員会での報告でウエルコム株式会社でコールセンター事業を実施したい旨回答があったと報告を受けたが、

と、自社で新築する案を比較検討している」とのこと未定だが、オリイプタウン周辺と聞いている。

- ① センター開設場所。
- ② 町の出資はどの程度必要なのか。
- ③ 人材は確保できるのか。

② 開設時の負担はないが、「土庄町情報通信関連企業立地補助金交付要綱」に基づき、開設後3年間の実績に応じて3千万円を限度として交付することができる。なお、県は3年間で5億円を限度とする助成制度を設けている。

雇用を創出が行政の重要課題

A ① ウエルコム株式会社が平成22年1月開設予定、場所は「民間施設を利用する案

③ 雇用人員の確保は重要です。業務開始時点で100名程度採用することから、昨年の研修者88名に加え、今年もより多

くの方に研修の機会を提供するために1千8百50万円の補正予算を計上しました。さらに、ハローワーク、高等学校、専門学校等関係機関への情報発信をしていきたい。

Q 開設予定1月までの短期間で、果たして即戦力としての人材を確保し、業務を実施できるのかどうか伺いたい。

② オペレータに必要な基礎技術を支援する講座を設けたいと考えている。また、開設までに企業による業務内容に応じた人材研修もはじまってまいりますのでご理解をお願いします。

A 人材育成、就職の人材確保はこれからの大きな課題です。この成否は、人材が集まるかどうかにかかっていると思っ

ている。そのためあらゆる機関を通して大いにPRしていきたい。

一般質問



三枝邦彦 議員

ETCに對抗し、フェリー補助について土庄町の考えは

Q 高速道路ETC搭載車1千円の施策が2年間実施され、それに対抗し各地区でフェリー会社などに補助金を出しているところがあるが、土庄町の考えは。

とは非常に難しい。今後とも国、県へ働きかけを続けていきたい。

A ご承知のように小豆島には複数の航路がある。実際の航路の補助を行うのか、また町として特定の民間企業に多額の補助金を出すことについて、町民の理解を得られるのかという問題もある。

Q 先日、高松市が補助を出すから、小豆島町、土庄町も一緒になつて期間限定で補助金をつけようかという話を聞いたが、その真意は。

A 高松市からの話は事実である。男木、女木と同じように7月中旬から9月末の内容でした。試算しますと約1億1千万円の費用がかかる。

フェリー航路の新たな国庫補助は、たびたび香川県、町村会を通じ国の方へ要望している。単独町で新たな補助を行うこと

一定の効果はあると思っ

また、複数の航路、便数も多く補助をするとなると一町ではできない。高松市との共同出資の打診はあるが、財源問題も含めて今は無理である。

高校再編、旧池田へ新設高校の話は事実か

Q 高校再編について新設高校を旧池田へ、との話があるが事実か。

A 県教育委員会は10年後には高校は1つが望ましいとの結論を出した。今後5年間で方向性をまとめていくことで、地域住民、PTA関係の意見を聞き取り中後援会はできるだけ長く2校存続の陳情を続けているが、1つの選択肢として県高校教育課が出した話であり、「新設高校を旧池田へ」と言うのは決定ではない。

〔平成21年度町長施政方針大綱〕

庁内プロジェクトチームの 具体的取り組み内容は

Q わが町単独町
でどう生きるか、
この状況で今回の庁内プ
ロジェクトチームの目
的・組織・権限・予算・
人員構成・期間等々、具
体的な戦略・戦術につい
てお聞きする。

A プロジェクト
チーム設置基準
により設置。チームには
それぞれ運営要領が定め
られ、その中で設置の目
的・名称・事務の内容・
チームの構成・設置期間
及び協力課を明示するよ
うになっている。
現在11のチームは、町
のすべきこと、将来のあ
り方を踏まえ立ち上げた

もの。その目的は、町長
の意思、考え方に沿った
ものである。
組織及び権限はメンバ
ーのほかに副町長を総括
者として、参事を副総括
者としている。
人員構成は、課の枠を
超えて連携、協力してい
く必然性から、それに
沿った関係課の課長や担
当者がメンバーとなる。
設置期間は、目的が達
成されるまでの期間であ
る。

独自の予算は無く、プ
ロジェクトに関係する各
課の庶務担当が予算の編
成と執行を行っている。
戦略・戦術ですが、ど
のプロジェクトも町の懸

案事項となっているもの
ばかり。
したがって、結論が急
がれるものから進めて行
く。

Q 予算は必要と思
うが、意気込みが
伝わってこない。具体的
に説明を。

A 今はコピー代程
度、プロジェクト
の目的、目標が見える段
階で、初めて予算が出て
くる。
目的は、一つは総合行
政（横割り）の実施。二
つは行政サービスの新し
い提案。身の丈にあった
効率的な行政を目指す。
11の主な項目は

- ・ 町の将来像、合併し
なかつた町の形
- ・ 次期行財政改革
- ・ 景観計画調査
- ・ 石のサミット
- ・ 世界の子ども映画祭
- ・ し尿の民間委託
- ・ 小学校の再編ほか
これらについて努力して
いきたい。ぜひご理解を
願いたい。

町所有の絵画・書・写真の住民へ の公開展示を（整理作業の進捗状況は）

Q 町が所有するこ
れらの作品の整理
作業の進捗状況は、また
住民への公開はいつごろ
か。

A 備品台帳登載は
絵画・壺・掛け軸・
花瓶など52点ある。しか
し小中学校、地区公民館
には記録が残されていない。
確認できた備品台帳へ
の登載部分にしても、約
半数が作者はもろろん、
受け入れ先自体が不明と
いう状況である。
所有する価値ある財産
を有効利用することは非
常に重要です。もう少し
体制が整い、十分管理で
きる状態が確保できた時

Q 点で展示物の貸し出し、
それが可能か、どの機会
に紹介できるか判断して
いきたい。

A 作業が進んでい
ないことは残念で
ある。そこで提案です。
2010年瀬戸内国際芸
術祭に向け、フェリー
ターミナル2Fに峰見教
授、伊達良さんの作品が
ある。それに寺本郷史さ
んを加え充実させる。
また堤防アート、二
十四の瞳群像もある。港
と海と山をマッチさせ、
瀬戸内国際芸術祭の盛り
上げに一役関わることが
できる港を目指してはど
うか。2点目は町民文化

展が加わり商業祭が大き
く盛り上がっています。
これに整理ができた作品
を紹介するコーナーを商
業祭の目玉の一つとして
どうか。

A 素晴らしい提案
と受け止めます。
ただ作品移送、保険、梱
包など検討する余地があ
る。瀬戸内国際芸術祭に
ついては北川フラム氏と
相談していきたい。町民
文化展を商業祭に参加す
ることは大変良いこと。
作品の安全性を保ちなが
ら前向きに検討したい。



一般質問



川口幸路 議員

一般質問



山本良熙 議員

一般質問



議員 泊 満夫

消費者庁設置に伴うわが町の対応は（窓口はどこか、生活相談員の配置は）

Q 政府の消費者庁の対応窓口はどこか。また消費生活相談員の正規職員化を含む雇用安定策、研修会への参加などの取り組み状況は。

A 本年度中に企画課内に設置する予定です。業務については、悪徳商法や振込め詐欺被害防止のためのパンフレットを作成し、全戸配布を行うとともに、研修会を通じて職員や消費生活相談員の育成支援を行っていく予定です。

いずれにしても消費者からの苦情、相談があれば迅速に対応できるように

相談窓口の周知を図ることが重要と考えている。

Q 生活相談の内容はサラ金、食品偽装、架空請求、振り込み詐欺など多岐にわたっているが、現在の要員で対応できるのか。

A 小豆県民センターに相談された方は土庄町で90名強。小豆島町でも90名強です。小豆事務所にも県民センターを残すことを前提に町が相談窓口を引き受けたという形である。当分の間は、簡易な相談以外は県民センターの方をお願いする形で考えている。

子育てファミリーサポートセンター開設に向けた取り組み状況は。

Q ファミリーサポートセンターの職員の配置基準、協力者会員数、事務所の場所など、現時点での検討状況をお尋ねする。

A 現在のセンター型から、平成22年度には、広場型、センター型いずれかを選択し移行しなければならない。中でも職員2人体制が補助要綱の必須要件となっている。ファミリーサポート事業は選択事業である。まずは子育て支援センターを2名体制でスタートし、すでに実施している市町の事業も参考に、関係機関と協議を重ね、準備を進めていきたい。

監査委員とは

監査委員は、町の予算の執行、契約、財産の管理など財務事務や行政事務について、法令を守って合理的かつ効果的に行われているかを行政から独立した立場で監査します。その他決算審査や現金出納検査などを行っています。

選任は、人格が高潔で町の財産管理、事業の経営管理、その他行政運営に関して優れた識見を有する者および町議会議員のうちから議会の同意を得て選任します。任期は職員を有する者は4年、町議員選出委員は議員の任期によります。その他、必要があると認められたときや、議会の要求、町民の請求などがあるときにも監査を行います。

「最小経費・最大効果」、「組織および運営の合理化の原則」などに留意して、これらの監査を行い、その結果に関する報告を決定し、関係機関に提出し、公表しています。なお、監査委員事務局は、町議会事務局内に設置しています。



▲監査委員による視察（家浦2号池）

編集後記

夏真っ盛りです。表紙の写真は、鹿島海水浴場海開きでの人命救助訓練のひとコマです。

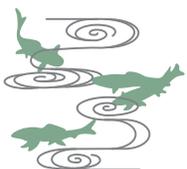
土庄幼稚園の園児たちもみんな真剣なまなざしで見つめています。今年も事故がないようお互いに気をつけたいものです。

さて、本号より、新しい構成メンバーにて編集することになりました。

議会活動を広く町民の皆さまにお知らせし、議会の透明性と議会活動の活性化を図るために努力したいと思っております。

また、紙面のページ数も少し増やすことができました。どうぞよろしくお願いたします。

良照



町議会を傍聴してみませんか！

町の本会議は、公開されています。町政がどのように進められているか

など町議会の実際を知りたい方は、いつでも傍聴することができます。詳しくは、議会事務局（☎62-7011）へお問い合わせください。

次の町議会は、9月中旬頃から予定しています。